

平成28年度第3回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成28年6月22日（月） 午前10時30分
場 所 教育委員会 第一会議室

<教育長あいさつ>

最初に、生徒の情報が入っているUSBの紛失事件に続き、教員の酒気帯び運転事件と立て続けに不祥事が発生したことにお詫び申し上げます。飲酒運転の罪の重さを分かっているはずなのになぜという思いがあります。生徒や保護者、家族、地域の方々等からの信頼を失ってしまったと思います。本日、子ども達に謝罪していますが、今後子どもたちの動揺を考慮し、すこやかスクール相談員が対応できるようにしています。また、保護者が心配している授業ですが、県から代わりの教諭を配置していただけることになっています。事実を見つめて今後に生かしていきたい考えです。

多賀城市のあやめ祭り開幕式に行く機会があり、その後、駅前の市立図書館を見てきました。建物を市が建てて、業務を書籍等販売事業者に委託しているという形態で運営しています。様々な考え方があり、今後の図書館の在り様を考えさせられました。

6月に第2回市議会定例会での一般質問について、質問内容と答弁について説明を行う。

<議 事>

議第10号 天童市学校評議員の委嘱について

<可決する>

審議経過

委員： 任期による反対意見はありませんが、この学校評議員の推薦されてきた方10人は、再任なのか新任なのか。

事務局： 再任、新任についての資料を持ち合わせておりません。

教育長： この名簿だけでは分からないようになっていきますので、様式の変更を検討するなど、今後に生かしていただきたい。

議第11号 天童市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について

<可決する>

審議経過 なし

議第12号 教職員の懲戒処分内申について

<可決する>

審議経過

- 委員： 電子記録媒体はまだ見つかっていないのか。見つかっていないとすれば、どのような経路で紛失に至ったと推測できているのか。
- 事務局： 職員室の自分の机にあるパソコンに挿入して使用するのが常だが、挿入する間も無く机の上に置き、別件について対応した。翌日、業務を行おうとしたが、見当たらず。後に、ゴミ箱等も検索したが発見に至っていません。
- 委員： 机に置いた日はパソコンを使わなかったのですね。
- 事務局： その日は使わなかったとのこと。
- 委員： 紛失データが使われた形跡はありましたか。
- 事務局： データ流出や他による使用については確認できていません。
- 委員： このような事案の危機管理について、学校での管理の在り方、市教委として学校への指導はどうしているのか。
- 事務局： 中学校の4校を訪問し、管理状況とマニュアル内容等を確認しました。小学校の一部校へ訪問していますが、これから全校訪問していきます。学校ごとの管理マニュアルは、見直し修正するよう指導し、実施しています。また、校長会の時に文書でも注意喚起しています。

教育長： 議事は以上です。委員の皆様から何かありませんか。

- 委員： この度の酒気帯び運転について、学校の先生はあらゆる面で子どもたちの手本とならなければならない。それが聖職といわれる由縁でもある。子どもの信頼を裏切った形となり、この事実を厳粛に受け止めなければならない。
- 飲酒運転根絶が叫ばれている中で、教員が起こすという事態が、二度とないように、全力でやっていく必要がある。
- 教員ひとり一人のモラルの向上、起こさないための職場環境についてどのようにしていく考えか伺いたい。
- 委員： 今、何故不祥事が起こるのだろうかと考えた時、マニュアルがあるだけではだめで、毎年人事異動等で違う人が入ってきた時等に説明する体制をとることや、職場の全員で定期的に再確認することなど、繰り返し、続けていくことが大事であり必要なことだと考える。
- 委員： 自分の会社でも、問題発生した場合にその後6か月間、再発防止のために再確認し続けて、再発防止を図っている。そうすることをシステム化あるいは標準化している。
- 委員： 教育の現場に関わっている以上、子どもの見本とならなければならないし、特に子どもによる大人への信頼を失ってしまった事案です。モラルの向上、意識付けについて、教育委員会としても定期的に注意を促すなど、深く関わっていかなければならないと考えます。

事務局： 各学校に校内倫理委員会がありますが、あるだけではなく、教員に対して実効性を伴ったものになっているのか、実状況を確認していきたい。どの学校でも、このような事件が発生すると、事案の背景を皆で考え、自分のことに置き換えたりしている。しかし、自分事にとすることまでに至っていないのではないかと考えています。思ったほどわかっていない。分かっているようで曖昧なのではないかと考えています。複数による思いやりのある声かけや相談の出来る職場づくりを指導していきたい。

教育長： 教員の持っている構造的な弱さに気づかされた。教員自身の課題を振り返ることへの指導に力を入れる必要がある。

これまで、学校でこう努力してください。ということで進めてきたが、強制的に教育委員会がリーダーシップを執っていくべきと考えている。現場に強制していく必要性を感じています。

今後二度と起こらないようにするための改善を推進していきたい。

委員： この度の事件を起こした教員がストレスを感じていたのかどうか教えていただきたい。

また、学校では職員面接は何回くらい実施しているのか。

事務局： 本人から直接聴き取る時間がなかったが、学校からの報告では本人の生活面等の相談は無かった、ただ、よく独り言は言っていたとのことだが、本人の特性によるものとして、周りの者も理解していた。校内で人との関係性が悪いとかの話は無かった。

人事評価制度によるものもあり、学校職員との面談は年に3回実施しています。その他、任意で相談をすることもあります。

委員： 我々教育委員も根絶に向けて、皆さんと一緒にやってやるべきことはやっていきたい考えですので、必要なときは言ってください。二度と無いように一緒にやっていきましょう。

< 報 告 >

- ・東村山地区中学校総合体育大会の結果について（学校教育課）
- ・平成27年度学校給食費決算報告について（学校給食センター）

教育長： 他には無いようですので、第3回教育委員会会議を終了します。